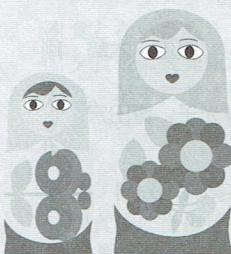


# プリローダ

第 58 号  
(NPO 第 11 号)



【ПРИРОДА】 プリローダ=ロシア語で“自然”という意味をあらわす



発行：2014年8月1日

むさしの・多摩・ハバロフスク協会は、東京都武藏野市で生まれた、「寒帯林保全」、「自然体験活動」、「国際交流」などを行う NPO 法人です。

## ハバロフスク市創立 156 周年 記念行事に参加してきました！

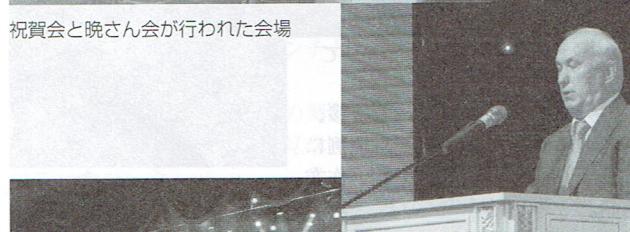
ハバロフスク市役所からのご招待を頂き、5月27日（火）～6月1日（日）の日程で、市制156周年の記念行事に参加してきました。メンバーは、理事長の安藤栄美ほか長村康司理事・本江一郎顧問・藤田良子さん（会員）・土屋ゆう子さん（会員）です。5月初旬の植林ボランティアツアーの際に5名ものご招待をいただいた時には、大変びっくりしましたが、今までの交流や昨年の洪水見舞金のことが評価されたのではな

いかと、とても嬉しく思いました。

公式式典は30日（土）夕方からの記念祝賀会に始まり、翌31日（日）の市民パレード・歓迎昼食会・船上花火パーティーと続きました。私たち以外にも友好都市であるアメリカ・ポートランドの方々、中国はフュアン市とジャムス市の方々が招待されていて親善交流をしました。



祝賀会と晩さん会が行われた会場

ポートランド市の  
方々と交流

ソコロフ市長



主催者・来賓挨拶後の大コンサート



児童・青少年によるマスゲーム



3万人が参加した市民パレード

# 2014植林ボランティアツアー in ハバロフスク

報告 木崎 剛

期 間 2014年5月4日（日）～11日（日）

参 加 者 青木郁子、石井一郎、石井照代、岡田佑紀子、佐藤巧、佐藤壮多、高橋黎、根来美和子、林武志、林光子、豊田宏、四津啓、畠山重篤、山本悟、桑津昇太郎、原尚、本江一郎、長島昭、小林亮介、安藤栄美、木崎剛

通 訳 オルロフ・ウラジミル

コーディネーター チエルニコワ・エレナ



## 5月4日（日）曇り時々雨

参加者が空港に集まり、チェックインを行う。今年も個人での重量計算となり、協会の荷物を参加者に振り分けてチェックイン。それでも2万5千円ほどの重量超過金を支払う。

ほぼ定刻どおりS7-568便でハバロフスクへ。

機内では軽食ボックスが配られ、夕食となる。

19:45にハバロフスクに到着し、一部協会持込の荷物を開封させられる事態はあったが、問題なく通関も通った。

空港には、コーディネーターのチエルニコワさん、通訳のオルロフさん、現地に滞在している小林理事が迎えに来ていたロシア（ハバロフスク）についたと実感した。原さん、長島顧問はインツールストホテルに向かい、我々は太平洋国立大学宿舎へ。ここでも部屋割りで多少の行き違いはあったが、これも海外でのよくある出来事として明日に備えるべくそれぞれの部屋へ。

しかし、10時になってもまだ明るい。なんとも不思議な感じ。



無事にハバロフスクに到着

## 5月5日（月）晴れ

7時50分に宿舎入り口に集合して、朝食へ近くのカフェへ。

8時までに準備をしてもらえたことになっていたが、準備は完全ではなくビュッフェスタイルでキャッシャーを通ってから一部の料理が出てきたりしていた。

9時に宿舎を出発してホテル宿泊組みを乗せ、途中換金しながらナナイ地区トロイツコエへ向かう。昼食は途中のマヤックにて。



マノマ宿泊施設にて

道路は昨年の洪水の影響もあり、一部で改修の為、盛り土をしていたりと未舗装の場所もあった。

15時30分には、目的地トロイツコエのアニュイスキー国立公園宿泊施設「マノマ」へ到着。

宿泊施設には犬、馬、鶏などがいたり、多くの薪があつたりと自然との共生を感じさせる場所であった。

16時からは地元の子ども達（アニュイスキー国立公園少年団）が、自分達の活動を発



アニュイスキー国立公園少年団の発表

夜にはロシアの伝統的なサウナ（バーニャ）に入らせてもらった。

ちなみに男性の部屋は9人部屋（9台のベットが並んでいるだけ）。



民族衣装に身をつつみ

## 5月6日（火）曇りのち雨

8時30分に朝食を取り、ナナイスキー営林署管轄の植林場所へと出発。10時30分に現地に到着。



ナナイスキー営林署管轄の植林場にて

地方政府森林管理局長の挨拶、安藤理事長の挨拶のあと、恒例により「カチューシャ」を歌い作業開始。



皆で協力して植林開始



地元TVの取材を受ける植林団

植林には営林署の皆さん、ナナイスキーの子ども達を含め総勢約50名で行った。

ロシア語が話せなくても、身振り手振りを交えて一緒になって植林を通して交流をすることが出来た。

今回もハバロフスク地

方のテレビ局が取材に訪れ、中学生・高校生の兄弟、安藤理事長がインターイビューを受ける。この日は3年生の苗木を3500本植えた。

トロイツコエにて、昼食後関係者の皆さんとお別れをして、ハバロフスクに向かう。

ハバロフスク郊外の「ひまわり」と言うレストランで早めの夕食となった。

夕食後に後発組が空港に到着予定であったが、早めに到着した為、早々に迎えに行くがなかなか戻ってこない。バスが戻るのを待つ宿舎へ戻る。

## 5月7日(水) 晴れ

朝食後に畠山氏、山本記者と合流して、太平洋国立大学へ向かう。

10時から大学の講堂にて環境セミナーを開催する。今年は特別講師として、日本から畠山重篤氏をお招きして実施した。

畠山氏は「森は海の恋人」運動を提唱して、



環境セミナー会場の講堂



環境セミナー集合写真

漁師が森に木を植える活動を続けており、2011年の国際森林年に国連から「フォレストヒーローズ」の一人として選ばれた方である。

今回の講演では、アムール河の森の恵み(フルボ酸鉄)が、は

るか日本の三陸沖の漁場をも豊かにしていることを話され、日本とロシアが連携して環境保全に取り組む重要さを述べられた。

さらに、気仙沼における東日本大震災の体験談もお話を戴いた。

また、太平洋国立大学に留学している小林亮介氏は、当協会が植林を続けているチョウセンゴヨウは、その実が増えることにより小動物が増え、それを捕食するイノシシ類が増え、ひいては絶滅危惧種であるアムールトラの保護にもつながることを述べた。

会場には多くの学生も授業の一環として参加し、質疑応答も行われた。

大学からは学生と教授がそれぞれ発表をした。

授業終了後、学食にてセミナーに参加した学生も交えてランチと懇談をした。

昼食後に大学との協定書の調印式を行い、大学構内の桜も見学させていただいた。

14時20分から参加者は、小動物



ワロニシの植林地の苗木と記念碑

園の見学をして頂き、本江氏、小林氏、安藤理事長、畠山氏、山本氏、木崎はワロニシの植林地へ向かい、2011年の緑の少年団が植えた苗木の確認を行った。

16時から、児童青少年センターを訪問し、子どもたちの歓迎を受けた。



児童青少年センターでの交流

日本側からは畠山氏にお話を頂き、絵本や折り紙などをプレゼントした。

また、一緒に折り紙やちょっとした遊びなどでの交流もした。夕食前に桑津氏と合流をして、インツーリストホテルにて夕食。

## 5月8日(木) 快晴

9時10分に宿舎を出発して、ヘフィツィル地区への植林作業へ。途中で森林管理局の皆さんと合流をして、現場へ。

10時50分から「友好の森II」記念碑の前でセレモニー・記念撮影を行い、植林場所へ向かう。

植林地は、傾斜地ではあったが、事前に目印になる杭を打っていたので、そこへ苗木を植えていった。

今回は、土を返す先のとがった道具が用意されていて、作業がスムーズに進んだ。

2、3人での作業であったが、ロシアの方との作業は、やはり言葉が通じないのでボディランゲージに頼るところが大きいが、皆それぞれに楽しんでいるようであった。

この日は3年生と5年生の苗木を1500本植えた。

植林を終えて、昼食のためにレストランへ。



友好の森II記念碑の前で

レストランの直ぐそばに、冒険家ガイドのナナイ人デルス・ウザラにちなんだ石碑があり、そこを見学した。昼食は途中の植林作業

レストランで作業に参加していく皆さんとともに、お互いの労をねぎらいながら、懇談もかねて食べた。レストランのオーナーが記念写真と一緒にとってくれということで、レストラン前で記念写真を取りました。それは、きっとレストランに飾られることでしょう。

午後は、参加者のみなさんは、大ヘフィツィル自然保護区の散策をして夕食後、レーニン広場で自由行動を取り、宿舎へ。

安藤理事長、桑津市議と木崎はハバロフスク市のイワノワ国際交流局との会食へ出席しました。

ハバ協には、大変なご協力を絶えず頂いていますが、今回の会食では、武蔵野市との交流をもっと広げたいとのお考えをお聞きしてきました。また、5月末のハバロフスク市の156周年記念式典に出席の要請もいただきました。

大変光栄に感じましたし、今までのハバ協の活動がこれほどまでに評価されていると感じた瞬間でもありました。

## 5月9日(金) 晴れ



シカチアリヤン村での子ども達の舞踊

朝、朝食を取り、9時にシカチアリヤン村へ向かう。途中、休憩で露店で蜂蜜や小物を買う。

約2時間でナナイ博物館、学校、体育館が併設されているシカチアリヤン村役場

に到着。

ニーナ村長の出迎えを受け、博物館を案内していただき、子ども達の舞踊を見せていただいた。

子ども達と一緒にランチをいただく。

昼食後に折り紙や剣玉、コマなどで子ども達と交流をした。子ども達の上達の早さに、驚かされた。

その後に川沿いにある、古い古い岩絵(岩を削って描かれている線画)に案内していただいた。

不用意にあるので、見落としてしまいそうであるが、よく見ると、魚や動物、人の顔が描かれていた。

シカチアリヤン村をあとにして、帰路に着く。



子ども達との交流

市内に戻り、プラチナアリーナ(アイスホッケー場)の見学をさせていただいた。

少し、遅くなってしまったが、練習を続けていただき、その



地元アイスホッケーチームとの交流

アリホテルレストランにて、夕食をとった。レストラン前で、桜がハバロフスクでも咲いていることを見ることが出来た。



アリホテルレストラン前のエゾヤマザクラ



エゾヤマザクラ

この桜は、協会が1998年頃に持ち込んだエゾヤマザクラの苗木が成長したものであると思われる。

## 5月10日(土)快晴

この日は、1日観光ということで午前中に博物館を見学し、コムソモーリスカヤ広場前の展望台に寄り、アムール川の遊覧船に乗り、鉄橋付近までの遊覧を楽しんできた。

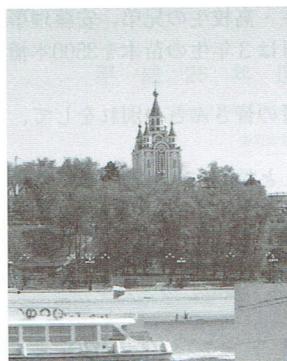
昼食をとって、市場で、市民の生活について触れ、ロシア正教のスパソブレオブラジエンスキー聖堂、ハバロフスク駅を見学し、その後、3班に分かれて行動しました。

一つは、書籍を中心に大きな本屋さんを見て、市内を歩く。

もう一つは、路面電車に乗って、市内観光をする。もう一つは、マイクロバスにて観光をする。

それぞれ、目的をしっかりと果たし、有意義な時間を過ごせた。

夕食は、ハバロフスク最後と



アムール川遊覧船より  
いうことで、インツーリストホテルにて  
ささやかながらパーティーを開き、それ  
ぞれにハバロフスクでの最後の夜を楽し  
んだ。



ハバロフスク駅



みんなで乾杯!



参加者皆で!

まだ、陽が落ちていなかったので、日本人慰靈公園を見学して宿舎へと帰った。

## 5月11日(日)曇り

朝食後、日本人墓地に立ち寄り、お参りをしてから空港へ向かう。

空港では、わざわざ森林管理局長さん等が見送りに来て下さった。

定刻どおりに成田に到着した。

問題もなく、参加者の皆さんと笑顔で家路についた。



日本人墓地慰靈碑

# 総会資料

## 議案第1号

### 平成25年度事業報告

平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

#### 1 事業の成果

本年度は、前年度より2事業(MIA祭・ロシア料理事業)が減ったものの、環境ポスター展示会を1事業として立ち上げ、充実した事業展開を行うことができた。また、ハバロフスクにおける大洪水に対する緊急募金を呼びかけ、多くの寄付金が集まつたことは、当協会に対する信頼の表れであつたと感じている。

#### 2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人數	事業費の金額(千円)
環境ポスター展示会事業	ハバロフスク市と日本の子どもたちから環境ポスターを募集し展示会を実施。	2013.7.2~7	武藏野プレイス	5	300	40
委託・緑の少年団国際交流事業	日本とロシアの子どもたちの交流事業を実施。	2013.8.4~9	ロシア連邦ハバロフスク市	4	200	2185
2013植林ボランティアツアーア事業	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を実施。	2013.4.30~2013.5.7	ロシア連邦ハバロフスク地方	5	延べ150	6914
ロシアサロン事業(ロシア語講座)	ロシア人講師を招いて、格安のロシア語講座を開いた。	毎月第2土曜(8月除く)	武藏野公会堂	2	平均20人/回	457
ブリローダ(広報紙)発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介した。	2013.8.5 2014.1.1		3	会員はか広く500	53

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期所	従事者の予定期人數	事業費の予定期額(千円)
なし					

### 平成25年度監査報告書

平成25年度「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」

収入支出決算書および事務執行については、平成26年6月16日に監査に付され、帳簿・領収書ならびに関係書類を照合した結果、決算の計数は正確なものであり、また、事務は適正に執行されていることを認めます。

平成26年6月16日

監事 落合 恒

監事 高橋 善

## 議案第2号

平成25年度 活動計算書  
平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会  
(単位:円)

科 目	金 額
I 経常収益	
1 受取会員費 会費収入	333,000
2 受取寄附金 受取寄附金(洪水関係) 受取寄附金(その他)	446,718 41,000 487,718
3 受取助成金等 植林補助金 ロシアサロン補助金	4,000,000 24,200 4,024,200
4 事業収入 植林事業収入 環境ポスター展示会事業収入 緑の少年団事業収入 ロシアサロン事業収入 ブリローダ事業収入	2,961,032 0 2,410,000 449,000 0 5,820,032
5 その他収益 受取利息 書籍売上 雑収入	141 25,600 5,146 30,887
経常収益計	10,695,837
II 経常費用	
1 事業費	
(1) 人件費 作業日当人件費計	283,000 283,000
(2) その他経費 植林費 会場費 旅費交通費 宿泊費 食費 通信運搬費 通訳翻訳費 消耗品費 印刷費 交際費 謝金 手数料 施設利用料 保険料 雑費 書籍購入料 その他経費計	3,784,410 53,600 797,704 588,842 953,934 107,384 782,525 298,146 189,496 231,508 740,344 371,324 66,560 86,470 7,442 306,740 9,366,429 9,649,429
事業費計	
2 管理費	
(1) 人件費 作業日当人件費計	0 0
(2) その他経費 旅費交通費 通信運搬費 消耗品費 印刷費 交際費 会議費 手数料 見舞金 雑費 その他経費計	4,730 63,719 92,712 191,109 24,220 23,126 55,151 380,150 2,715 837,632 837,632
管理費計	10,487,061 208,776 2,621,741 2,830,517
経常費用計	
当期正味財産増減額	
前期繰越正味財産額	
次期繰越正味財産額	

### 議案第3号

### 議案第4号

#### 役員・顧問の選任について（案）

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会役員のうち、以下のものを該当役員とする。（任期は2年とする）

役職名等	(フリガナ) 氏名	住所又は居所	就任期間
1 理事長	アンド烈 安藤 栄美	東京都武藏野市吉祥寺東町 1丁目15番25号	平成25年4月30日 再任
2 副理事長	キラズメ 北爪 達也	東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎 2273番地30	平成25年4月30日 再任
3 副理事長	タサキ 田崎 桂子	東京都小金井市東町 1丁目17番6号 モンシャトーカ小金井東B棟201号	平成25年4月30日 再任
4 副理事長	ヨダ 依田 和也	東京都府中市美好町1丁目11番地の2	平成25年4月30日 再任
5 理事	タカヒロ 武川 俊二	神奈川県座間市相模が丘 3丁目53番7号	平成25年4月30日 再任
6 理事	タガタ 永田 秀樹	東京都武藏野市境南町5丁目1番20号	平成25年4月30日 再任
7 理事	オサム 長村 康司	東京都三鷹市新川1丁目14番11号	平成25年4月30日 再任

1 監事	タカハシ 高橋 善教	東京都町田市鶴川2丁目15番地 2の105	平成25年4月30日 再任
2 監事	オサム 落合 恒	東京都武藏野市境5丁目2番23号	平成25年4月30日 再任

#### 平成26年度事業計画（案）

平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

##### 1 事業実施の方針

植林活動においては、「友好の森II」にて引き続き植林活動を行うと共に、今年3年目となる山火事現場（ナナイ地区）への植林活動も行い、地球温暖化防止のための寒帯林保全に努める。更に、国土緑化推進機構の委託を受けて緑の少年団国際交流事業を行い、日露児童青少年の国際交流、自然体験の支援を行う。また、ロシア太平洋国立大学との協定書を更新し、学生の日本受け入れプロジェクトの支援を行い、さらに交流の輪を広げていく。

##### 2 事業の実施に関する事項

###### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期人數	受益対象者の範囲及び予定期人數	事業費の予定期額(千円)
2014植林ボランティアツアーアクション	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受け、植林活動を行う。	2014.5.4～2014.5.11	ロシア極東ハバロフスク地方	4	どなたでも延べ150	6700
ハバロフスク市役所からの招待を受けで行う。	ハバロフスク市役所からの招待を受けで行う。	2014.5.27～2014.6.1	ハバロフスク市内	5	5 ロシアの人々	300
環境ボスター展示会事業	武藏野市との共催により環境ボスター展示会を開く。	2014.8.1～5	武藏野プレイス	10	どなたでも延べ50	30
太平洋国立大学生招請支援事業	植林でお話になつている大学生の日本招請支援を行ふ。	2014.10.7～2014.10.21	日本大学生物資源科学部ほか	2	ロシア人学生数名・日本人学生数	50
委託・緑の少年団国際交流事業	国土緑化推進機構の委託を受けて行う。	2014.8.3～10	国立那須甲子青少年自然の家ほか	10	70	2500
ロシア人講師を招いて、格安のロシア語講座を開く。	ロシア人講師を招いて、格安のロシア語講座を開く。	毎月第2土曜(7月まで)	武藏野公会堂	2	どなたでも20人/回	170
ブリローダ（広報紙）発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介する。	年間2回		3	会員はかく500	50

###### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定期	実施予定期場所	従事者の予定期人數	事業費の予定期額(千円)

#### 特定非営利活動法人

#### むさしの・多摩・ハバロフスク協会 顧問名簿

平成26年度の「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」の顧問は、下記のとおりとする。

平成26年6月22日現在

氏名	就任日
顧問 秋山智英	平成21年4月18日
顧問 土屋正忠	平成21年4月18日
顧問 稲葉孝彦	平成21年4月18日
顧問 木村日出夫	平成21年4月18日
顧問 中野哲夫	平成21年4月18日
顧問 本江一郎	平成21年4月18日
顧問 長島昭	平成23年6月26日
顧問 田村俊介	平成25年6月20日



平成26年度 活動計画書予算(案) 議案第5

平成26年4月1日から

平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会  
(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	150,000		
賛助会員受取会費	200,000		
2 受取寄附金			
受取寄附金	50,000		
施設等受入評価益		50,000	
3 受取助成金等			
植林補助金	4,000,000		
ロシアサロン補助金	27,000		
4 事業収益			
周年行事訪問事業収益	300,000		
緑の少年団事業収益 (報告書作成費を 植林事業収益)	2,500,000		
植林事業収益	2,700,000		
ロシアサロン事業収益	140,000		
5 その他収益			
受取利息	100		
雑収入	900		
経常収益計			10,068,000
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
作業日当	500,000		
人件費計	500,000		
(2) その他経費			
植林経費	2,650,000		
会場費	30,000		
旅費交通費	1,920,000		
宿泊費	400,000		
食費	650,000		
通信運搬費	120,000		
通訳翻訳費	500,000		
消耗品費	200,000		
印刷費	300,000		
交際費	150,000		
会議費	10,000		
材料費	5,000		
謝金	700,000		
手数料	45,000		
施設利用料	50,000		
保険料	60,000		
雜費	10,000		
書籍購入料	0		
公租公課	0		
前払金	1,500,000		
その他経費計	9,300,000		
事業費計			9,800,000
2 管理費			
(1) 人件費			
作業日当	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
会場費	10,000		
旅費交通費	5,000		
通信運搬費	50,000		
消耗品費	40,000		
印刷費	100,000		
交際費	5,000		
会議費	10,000		
手数料	41,000		
雜費	2,000		
書籍購入料	5,000		
公租公課	0		
その他経費計	268,000		
管理費計			268,000
経常費用計			10,068,000
当期経常増減額			
III 経常外収益			
経常外収益計			
IV 経常外費用			
経常外費用計			
税引前当期正味財産増減額			
法人税、住民税及び事業税			
当期正味財産増減額			
前期繰越正味財産額			
次期繰越正味財産額			
			2,830,517
			2,830,517

書式第15号(法第28条関係)

平成25年度 貸借対照表

平成26年3月31日現在

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金	863,023
預金(ゆうちょ銀行)	132,600
預金(東京三菱UFJ銀行)	3,136,762
前払植林事業費	3,388,132
流動資産合計	7,520,517
資産合計	7,520,517
II 負債の部	
1 流動負債	
前受会費	175,000
前受植林事業収入	2,515,000
前受補助金収入	2,000,000
流動負債合計	4,690,000
負債合計	4,690,000
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	2,621,741
当期正味財産増減額	208,776
正味財産合計	2,830,517
負債及び正味財産合計	7,520,517

\* すべての議案は承認され(案)の文字ははずされました。

# 総会報告

6月22日（日）10：30～11：15まで、武蔵野プレイス3階スペースCにおいて、平成26年度総会が開催され、選任された中野哲夫（顧問）議長のもと、すべての議事が承認されました。（5～7ページ参照）今年は20人を超える皆さんにお越し頂き、環境ポスターの選定もして頂きました。その後、場所を武蔵境駅北口の昌里亭に移して懇親会を行い、成功裏に終了しました。



## <お願い>

本年10月7日（火）～21日（火）までの2週間の日程で、植林ボランティアツアーにおける環境セミナーを開いているハバロフスクの太平洋国立大学の学生が研修で日本を訪れます。

これは、当協会と大学の間で結んだ環境教育に関する協定書の中に記されたもので、当協会は招聘（しょうへい）のための手続きを受持ります。費用18万円は学生の負担で、日本大学生物資源科学部森林資源科学科にて研修を受けます。ただ、この費用では既定の研修を受けることが精いっぱいで、観光をする費用まで回りません。そこで、会員の皆さんにご厚志をお願いして、せめて東京見物だけでもさせてあげたいと考えました。ご賛同頂ける方は、下記までご寄付の送金をお願い致します。研修生は3～5名とのこと。10月1日まで受け付けます。

### ・銀行振込の場合

三菱東京UFJ銀行 吉祥寺支店（店番220） 普通預金 口座番号 0041070

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会（トクカツムサシノタマハバロフスク）

### ・郵便振替の場合

00180-0-655125 NPO法人むさしの多摩ハバロフスク協会

またはゆうちょ銀行 ○一九店（019）当座 0655125

### <お問い合わせ>

〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町1-15-25 TEL&FAX 0422（23）5351 協会事務局

\* 本年7月をもって、10年以上続いたロシア語講座「ロシアサロン」が閉講することになりました。講師のエレーナ・カチャイロワ先生には本当にお世話になりました。誠にありがとうございました。

## プリローダ 第58号

発行日 平成26年8月1日  
発行 NPO法人むさしの・多摩・ハバロフスク協会  
住所 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25  
TEL/FAX 0422-23-5351  
E-mail mail@mtxa.org  
URL http://mtxa.org/  
発行人 安藤 栄美  
編集 田崎 桂子  
広報委員 依田和也、北爪達也、永田秀樹、木崎 剛、落合 恒、  
内田 央、内田 周  
印刷 巧芸印刷(株)

## 編集後記

本年度の総会で承認された事業内容を見ますと、NPO発足當時と随分様変わりをしました。残念ながら、ロシアサロンやロシア料理の交流などが出来なくなってしましましたが、余力がついてきましたら、復活する内容も検討していきたいと思います。まずは、無理のない範囲で頑張って参りますので、今後ともよろしくご支援のほどお願い致します。

